

単元名 【旧】たのしく うつして ーかたがみを つくってー(絵)

配当時間 6時間

単元の目標 (1) ステンシル版の表し方を用いて、型紙の置き方やローラーの使い方を工夫することができる。
 (2) ステンシル版の表し方を知り、何をどのように表すか考えることができる。
 できた作品を見せ合い、自分や友達の作品のよさや面白さに気付くことができる。
 (3) 型紙とローラーを使って表すことを楽しもうとする。

標準的な展開例

02080307_001

【準備等】画用紙、新聞紙、版画用具、共同絵の具、カッターナイフ、カッターマット、のり、はさみ、クレヨン、パス、サインペン

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 教科書の参考作品を見て、ステンシル版の表し方を知り、版をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書の参考作品を見て、感想を發表する。 <ul style="list-style-type: none"> きりんがたくさんいてにぎやかだね。 雪だるまのパーティーは楽しそうだね。 <p>★ステンシル版をつくり、楽しく写して表そう</p> <ul style="list-style-type: none"> ステンシル版で表したいものを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ステンシル版の型紙をつくる。 <p>3～4 ステンシル版を使って刷る。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで協力して刷りの環境を整える。 明るい色でローラー遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> 型紙を置く位置を考えたり、何色を使ってローラーで刷るか考えたりして工夫して刷る。 <ul style="list-style-type: none"> 型紙を置く。 ローラーで刷る。 型紙をはずす。 <p>5～6 必要に応じて他の材料を使って貼り足したり、かき加えたりして表し、鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 写した形を大切に、貼り足したりかき加えたりして表す。 友達と作品を見せ合い、感想を發表する。(言語活動) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書1・2下 P.46, 47 型紙を使うと同じ形がたくさん写せることに気付かせる。 教科書P. 56「うっしかた」を参考にしてステンシル版の作り方を指導する。 教師が簡単な型紙を児童の前で刷って見せてもよい。 形を明確にさせるためには、あまり複雑な形にしないほうがよいことを伝える。 細かい部分は後からかき加えたり、貼り足したりできることを知らせる。 教科書P. 52を参考にしてカッターナイフの安全な使い方について指導する。 切り抜いた紙や切り抜いた周りの紙の両方を使えることを知らせる。 【評】作品を通して、ステンシル版で何をどのように表すかを考える「発想や構想の能力」を評価する。 【評】作品を通して、型紙の置き方やローラーの使い方を工夫する「創造的な技能」を評価する。 刷りの活動がしやすいような用具の置き方を工夫し、活動場所を整えさせる。 ローラー遊びのみに使用する画用紙を用意しておく。 ローラー遊びをすることで、ローラーの使い方に慣れる。 型紙を何度使ってもよいことを知らせる。 刷った部分が乾いていることを確認する。 友達の作品を見て、よさを味わわせる。

【 備 考 】